お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止　**器具の改造や指定部品以外の交換はしない。**（火災・感電・落下の原因）

禁止　**器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。**（火災・感電の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
- **お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）
- **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。**（過熱して火災の原因）

禁止　**光を直視しない**（長時間直視すると目を痛める原因）

厳守　**明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。**

●**照明器具には寿命があります。設置して８～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。**
LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度30℃､1日10時間点灯､年間3000時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。
●センサレンズに汚れが付着すると検出性能が低下します。

器具の取扱い

■この器具の近くでワイヤレスマイクが正常に作動しないことがあります。

器具の清掃　⚠警告 **電源スイッチを切ってから行う**（感電の原因）

<器具のお手入れについて>
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。
<お手入れについて>
カバー・センサレンズはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。（高温のためやけどの原因）

知っておいていただきたいこと

○点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

保証について

■無償修理
照明器具の商品納入日より１年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは３年間です。

■無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを５年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

お　願　い

● LEDにはバラツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
● LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。
●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

三菱LED照明器具

E763Z810H22

マスクシール　マスクシール貼付位置

保管用

LEDダウンライト　［人感センサ付］

形名
EL-D1039N/3W（公共施設：LDS2-LRS1-950LM）
EL-D1039W/3W
EL-D1039WW/3W
EL-D1039L/3W
EL-D1439N/3W（公共施設：LDS2-LRS1-1400LM）
EL-D1439W/3W
EL-D1439WW/3W
EL-D1439L/3W
EL-D1839N/3W（公共施設：LDS2-LRS1-1900LM）
EL-D1839W/3W
EL-D1839WW/3W
EL-D1839L/3W
EL-D0539N/3W
EL-D0539W/3W
EL-D0539WW/3W
EL-D0539L/3W

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
絶対に行わないでください。　必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止
- **天井埋込み専用ですので天井直付けや壁面及び床面への取付けはしない。**（指定外の取付けは火災・落下の原因）
- **傾斜天井、補強のない天井には取付けない。**（火災・落下の原因）
- **引火する危険のある雰囲気で使わない。**（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）
- **器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）

禁止
- **配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
- **電源線を器具の外郭に直接触れさせない。**（過熱して火災の原因）

厳守　**施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。**

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止
- **高温（35℃を超える）、高湿度（85%Rhを超える）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）
- **さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）
- **風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。**（火災・感電の原因）
- **雨水のかかる場所で使わない。**（水気・湿気が入り感電の原因）

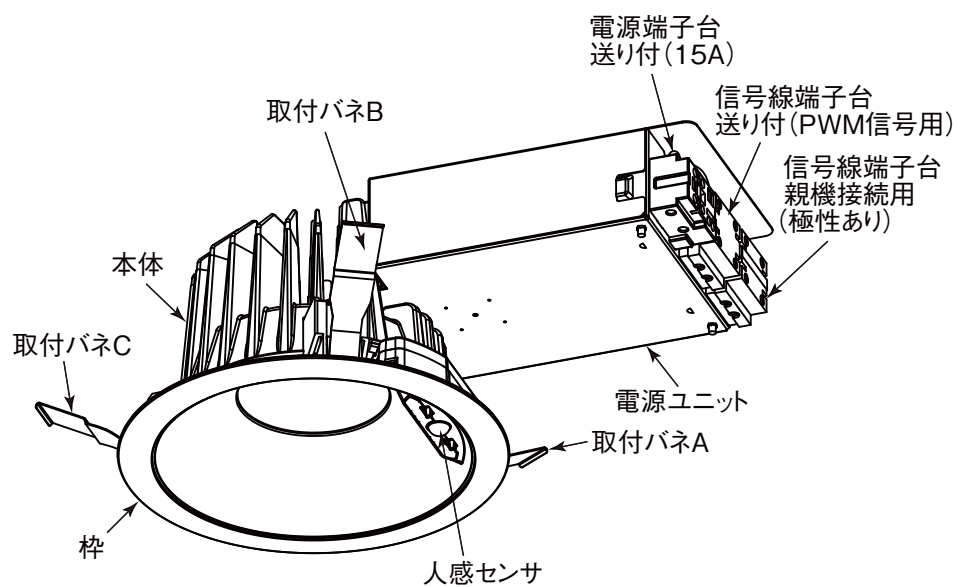
禁止
- **器具の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせない。**（火災・感電の原因）
- **表示された電源電圧以外では使わない。**（火災・感電の原因）
- **狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。**（器具が過熱して火災の原因）
- **調光器との併用をしない。**（器具が過熱して火災の原因）

お 願 い

■周囲温度は５～35℃の範囲でご使用ください。
■温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
■油煙のある場所では使わないでください。光学特性が低下する原因となります。
■商品監視システム（防犯センサ）の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

	定格電圧	周波数	入力電流			消費電力		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-D1039 シリーズ	AC100-242V	50/60Hz	0.140A	0.075A	0.065A	13.4W	13.4W	13.5 W
EL-D1439 シリーズ	AC100-242V	50/60Hz	0.188A	0.091A	0.078A	17.6W	17.4W	17.6 W
EL-D1839 シリーズ	AC100-242V	50/60Hz	0.230A	0.112A	0.097A	21.8W	21.5W	21.8W
EL-D0539 シリーズ	AC100-242V	50/60Hz	0.076A	0.041A	0.036A	7.3W	7.5W	7.6W

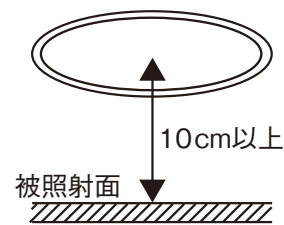
各部のなまえと取付けかた

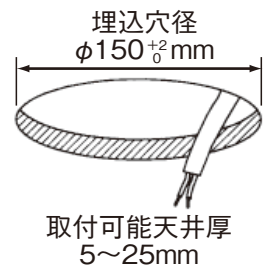
⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

1 取付前の確認

○器具質量（約1.1kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
○補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。

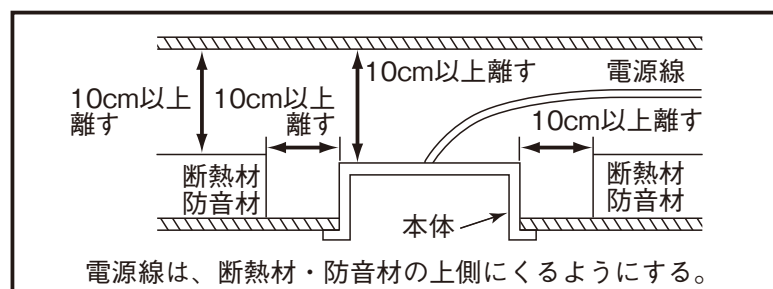
注）ロックウール、珪酸カルシウム板等、柔らかい天井に取付ける場合は天井材損傷、枠と天井面の間に隙間ができることがありますので、天井上面と取付バネの間に補強材を入れてください。
不備があると天井材の破損、落下の原因となります。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

⚠注意
器具と被照射面は10cm以上離す（被照射物の変形・変色の原因）

2 天井に埋込穴をあける

○指定埋込穴径 ϕ 150$^{+2}_{0}$ mm であける。
○埋込穴をあける際は専用工具を用いてあけてください。

⚠警告
断熱施工天井に取付けない（火災の原因）

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。

電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにする。

3 電源線を電源端子台に接続する

（1）電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
（2）アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

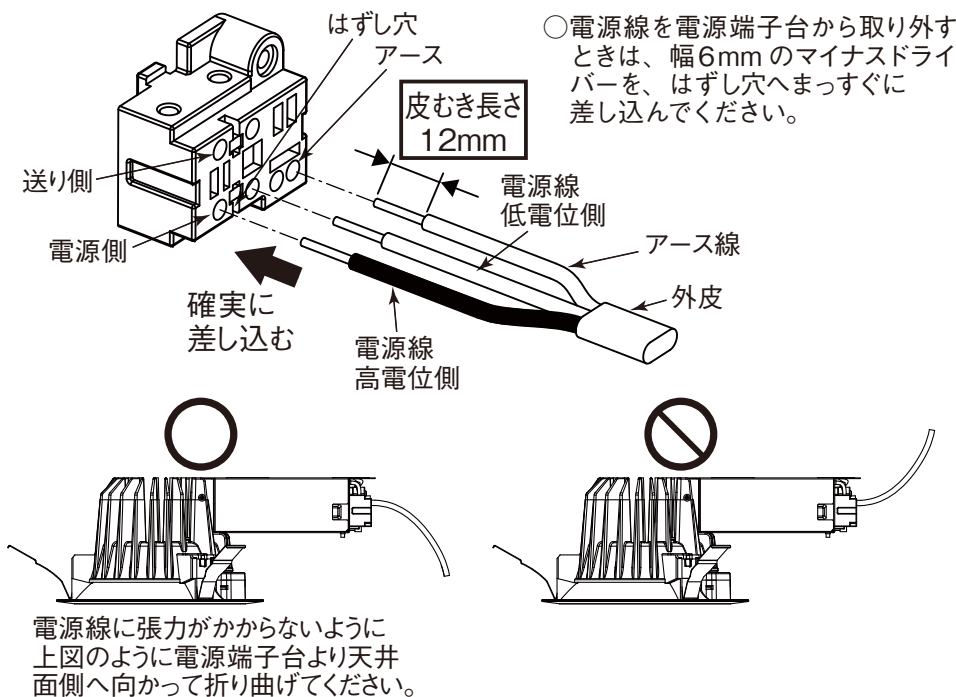
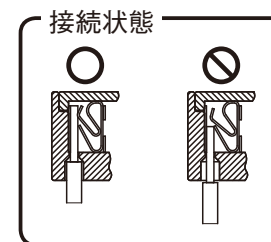
○電源端子台の容量は 15A です
○適合電線： ϕ 1.6mm 単線
ϕ 2.0mm 単線

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

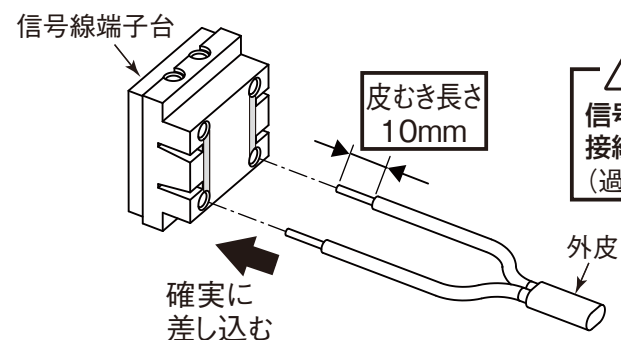
⚠警告
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

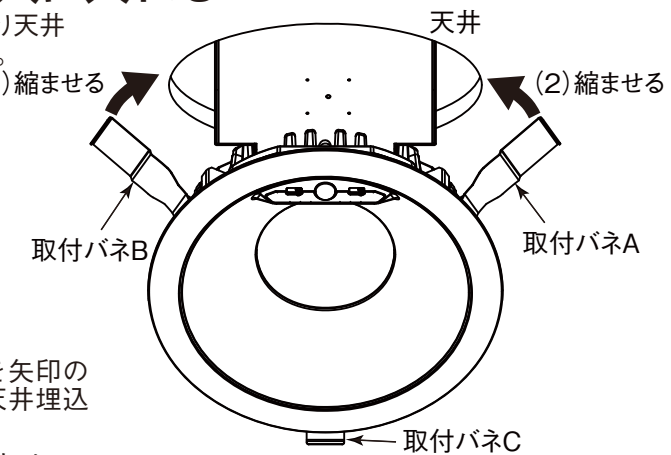
○電源線を電源端子台から取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

電源線に張力がかからないように上図のように電源端子台より天井面側へ向かって折り曲げてください。

4 信号線を信号線端子台に接続する

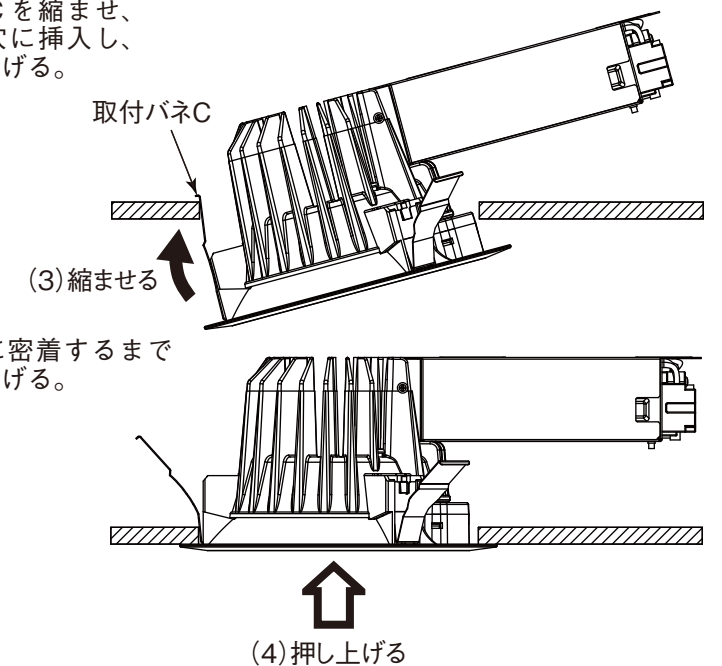
○信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
適合信号線 ϕ 0.9 mm～ ϕ 1.2 mm CPEV-1P
接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

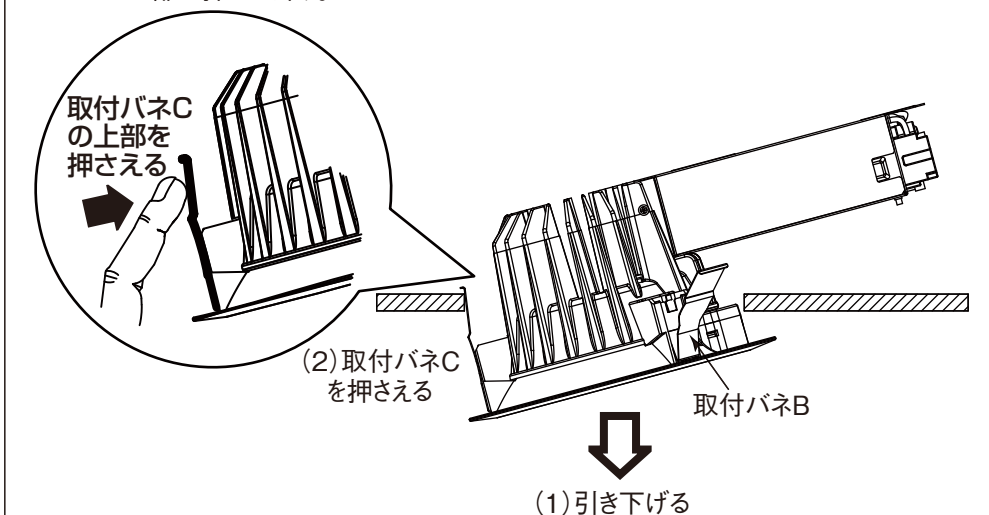
⚠警告
信号線端子台には電源線を接続しない（過熱・損傷し火災の原因）

※詳しくは「LED ダウンライト センサ機能説明（E763Z825）」をご覧ください。

5 器具を埋込穴に入れる

（1）電源ユニット側より天井埋込穴へ挿入する。

（2）取付バネA、Bを矢印の方向へ縮ませ、天井埋込穴に挿入する。
（3）取付バネCを縮ませ、天井埋込穴に挿入し、枠を押し上げる。

（4）枠が天井に密着するまで枠を押し上げる。

(4)押し上げる

6 器具のはずしかた

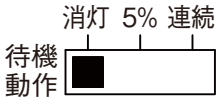
（1）枠をつかみ、ゆっくり下へ引き下げる。
（2）最初に取付バネCを押さえながら、枠を斜めに傾け、引掛かりを外す。
注）無理に引き下げると天井材破損の恐れがあります。
注）天井材が厚いときは、取付バネC（電源ユニットと反対側のバネ）の上部を押して外す。

（3）取付バネA、Bの引掛かりをすべて外し、器具を取り外す。
（4）電源端子台のはずし穴を押し、電源線を引き抜く。

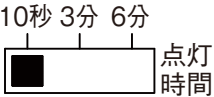
LED ダウンライト
人感センサ付（待機時：段調光、点滅切替可能）　**センサ機能説明**

センサ機能について

1. スイッチ説明

不在時（待機時）モード設定切替スイッチ（器具表示:待機動作）

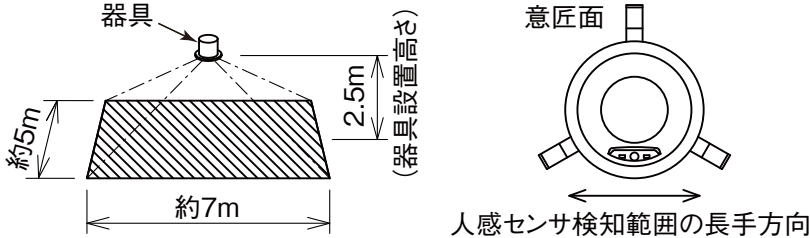
消灯 5% 連続
待機動作

・不在時（待機時）の照明の動作を設定します。
「消灯」：不在時（待機時）に全消灯します。（出荷時設定）
「5%」：不在時（待機時）に 5%の明るさで調光点灯します。
「連続」：人感センサを切り、センサは動作せず 100%連続点灯します。
※壁スイッチで OFF

時間切替スイッチ（器具表示:点灯時間）

10秒 3分 6分
点灯時間

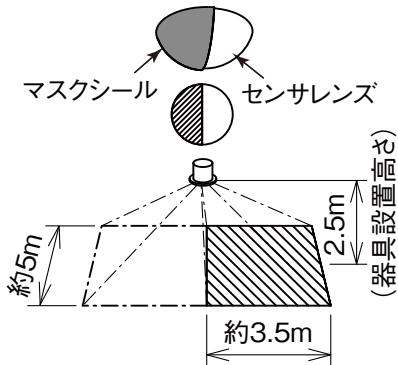
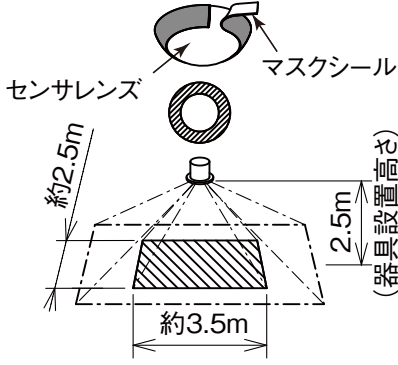
・点灯保持時間は「10 秒」「3分」「6分」の 3 段階です。
「10秒」：点灯保持時間を 10 秒間に設定します。（出荷時設定）
「3分」：点灯保持時間を3分間に設定します。
「6分」：点灯保持時間を6分間に設定します。

2. 検知範囲と検知性能

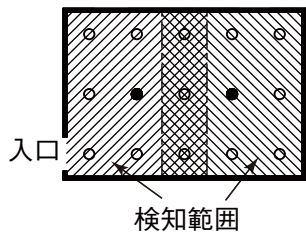
1. このセンサは「熱線（遠赤外線）」の変化を検知するため、人体以外の温度変化でも検知する場合があります。
（例）・太陽光などの強い光の直射照射　・エアコンなどの気流　・検知範囲内の照明器具
・ブラインドやカーテンの動き　・人体以外の小動物の動き　・強いノイズが入った場合
2. 人感センサの検知範囲と人との温度差が小さい場合（夏季等）は検知感度が鈍くなる場合があります。
3. センサは検知範囲内に人が入っていても、静止している場合や、動きの小さな場合には検知しない場合があります。
（参考：移動スピードは 0.8 ～ 1.2 m / s）
4. センサに向かってまっすぐ接近した場合、より近づかないと検知しない場合があります。
5. センサのビームを遮断する障害物がある場合は検知できません。
また、ガラスやアクリルなど熱線（遠赤外線）を透過しにくい物体がある場合、検知できないことがあります。
6. センサレンズにマスクシールを貼ることで検知範囲を制限することができます。
7. 取付高さが3mを超える場合、検知感度が鈍くなる場合があります。

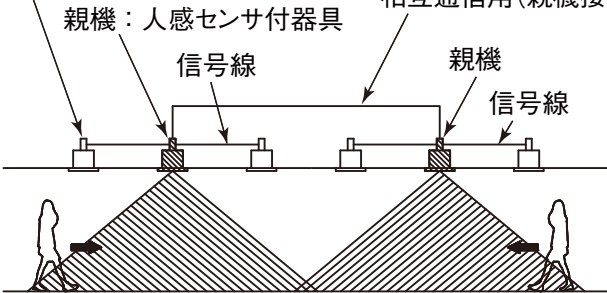
マスクシール（付属品）

[検知範囲]

[検知範囲の制限方法]（必要な場合のみ）

・検知範囲を半分にしたい場合

・検知範囲を狭くしたい場合

3．調光信号による送り機能

1. 調光信号線を、調光用ダウンライトの信号端子台へ送り接続することにより、点灯制御を連動させることができます。(送り台数：24台まで)
2. 調光用ダウンライトは当社の適合器具と組合わせてご使用ください。

配置及び接続例

●親機：人感センサ付器具
○子機：連続調光器具

人感センサ付器具(親機)を入口付近に設置すると
検知範囲が狭くなります。
全体を検知できるように設置してください。

廊下など両方向に親機を配置、接続することで
どちらから近づいても全点灯可能です。

適合器具(連続調光器具)

天井切込穴径	適合器具(連続調光器具)		
φ150	・EL-D0533 シリーズ	・EL-D1032 シリーズ	・EL-D1033 シリーズ
	・EL-D1432 シリーズ	・EL-D1433 シリーズ	
	・EL-D1832 シリーズ	・EL-D1833 シリーズ	

1.LEDダウンライト(調光仕様)を子機として接続する場合

相互通信用端子台
親機,MS121接続用
(極性あり)
(－極)
(＋極)
子機接続用端子台
送り付
(PWM信号用)
電源端子台
送り付(15A)
端子台詳細図

人感センサ付
ダウンライト
人感センサユニット
相互接続信号
PWM信号
配線長　：50m以下
接続台数：24台以下
連続調光器具
(適合器具)
1　2　…　23　24
配線長
：50m以下
接続台数
：3台以下

2.MS121人感センサを接続する場合

相互通信用端子台
親機接続用
(極性あり)
(－極)
(＋極)
子機接続用端子台
送り付
(PWM信号用)
電源端子台
送り付(15A)
端子台詳細図

人感センサ付
ダウンライト
PWM信号
MS121人感センサ
接続信号
配線長　：50m以下
接続台数：24台以下
連続調光器具
(適合器具)
1　2　…　23　24
配線長　：50m以下
接続台数：　5台以下
MS121
人感センサ
(子機)
1　2　3　4　5